



"岸本 陽介" <yosuke-k@pat.hi-ho.ne.jp>

10月12～14日

薬師岳&赤木沢

12日

深夜1時。草木も眠る頃に遠路姫路を出発し、大津で恵ちゃんをピックアップ。富山で石野さんと合流。目的は薬師岳、赤木沢遡航である。僕は前日の仕事が遅く飲み会もあり、気が付けば富山～♪（運転の大塚さんすいません）

朝食を済ませ、有峰湖-折立へ。天候は晴れ、去年の穂高と違い、空気も柔らかい。堪能出来そうだし。

ちなみに今回は来年のオートルート縦走の視察も兼ねているが、富山側に来るのは始めてでさっぱり地形が分からなかった。（一応地図は見てきていたが）有峰湖の大きさも黒部湖よりも大きいではないか！

折立から最初の小休止までで少々ばててしまった。荷物の重さも、トレーニング不足も、ザックのフィッティングもいまいちである。

こんな中、今回の縦走メンバーである石野さん、大塚さんの速いこと！何で20代よりも元気なんや！約3時間10分ほどで太郎の小屋へ。あ～いい汗かいた。木倉さんは上半身裸で恵ちゃんを綱で引っ張り上げている（他から見たら仲のいい夫婦に見えるんだろうなあ）薬師峠でテント設営。今回8人用テントなので他のどのテントよりもでかくて快適である。

昼食を済ませ、途中の沢でビールを冷やす。約半分のビール（40本以上の荷揚げである。他にもつまみや焼酎、ウィスキー等大量に持ち込んでいるが、誰が飲むねん）。サブザックで快適に薬師岳へ。途中千葉からきた直美ちゃんと合流する。（大塚さんの新手のナンパ??）

初登山の大本君と木倉さんは薬師峠から走って登り、我々を50分も待って昼寝こいていた。薬師岳の山頂からは北アルプス-槍-剣と申し分ない景色が広がっていた。最高の天気感謝である。

さて、下山も飛ぶようにおり、早速宴である。気温も下がってきたが、例年に比べ暖かく、何もかも最高である。星空までが祝福してくれるようだった。テントの中は日頃のストレス発散と脳細胞を殺すためのアルコールの宴と化した。

13日

未だ霜の解けていない木道を薬師沢へとおりる。なかなか景色の良いところである。冬には両側はゲレンデとなるであろう。途中霜柱と、氷が張る沢を越える際、今日の赤木沢の寒さに不安を覚えた。（杞憂であったが）

黒部奥の廊下の小屋に到着し、装備変更。このときはほんまに寒かったが、沢にはいると思ったより温かく快適であった。なにより、兵庫県の沢（氷ノ山の八木沢等）に比べて明るく開けている。

快適な滑沢に大本君も悦に入っていた。きっと一生残る思い出になるだろう。それにしても、夏に来たら最高だろうなあ！というのが正直な感想で、飛び込みたくなる滝壺がたくさんあった。

赤木沢をつめ、装備変更。赤木岳から北俣の科尔へ到着。丁度ガスも上がりきる前で、最高の景色とガスの美しさ、雲海と楽しませてくれる。

太郎平を過ぎ、てん場へ到着するとすぐに最高のビールで乾杯。この日は荷揚げしたビールを全てのみ干し、北アルプス一番の酔っぱらいのテントとなった。

14日

今日は下山である。山との別れを思うとちょっと切ないが、居酒屋臭いテントともお別れである。3時間ほどで下山したが、登ったときに比べ紅葉が数段美しくなっていた。デジカメの電池切れが残念であった。

駐車場付近や、有峰湖では下界の喧噪がやってきていた。これを過ぎると本格的な冬である。待っている！次はちゃんと体を作ってきてやる。・・・

PS.

山は最高の天気と景色で僕たちを迎えてくれた。山に対する畏怖の念としてちゃんとトレーニングすべきである。今回、トレーニング不足で入山したため、少々疲れた場面もあったが、北アルプス1の脳細胞の死に場所が（テント居酒屋）が心を和ませてくれた。



薬師岳より展望・・・穂高連峰



木倉博 <kurohyou@mh1.117.ne.jp>

薬師、赤木沢 山行

12日、

夜中の1時に陽介宅を経て大塚さんと大本君とポプラで待ち合わせ、ケイちゃんの待つ大津サービスエリアに行きました。

順調に走り、6時前に富山駅に、石野さんとの待ち合わせに少し手違いで、時間が掛かりましたが、合流、朝食後に有峰湖の登山口に向かいました。

1000メートル位まではまだ紅葉もしておらず、大きな有峰湖に着くと紅葉が始まっています。早々にしたくして8時半に登山開始、はじめは急登で、大汗物です。ケイちゃんがかかなりバテ気味で、大塚さんらのサポートで順調に3時間程で太郎小屋に着きました。

最後の2キロを裸でケイちゃんをザイルで引っ張りしんどかった！1キロ先の薬師峠にベースキャンプ12キロのモンベル8人用を張り、薬師岳に空荷で登りました。

大本君がめちゃ強い！何でや！豆が痛くてあまり早く登ってなかつたが、思わず意地になりました。早々に2人で山頂の景色を楽しみました。新雪が北面に付いてきれいでした！視界も良好で槍、穂高方面もばっちり見えました。

大塚、石野、田代、岸本君らは途中29歳の女性と知り合い、ゆっくり登って着ました、その間50分？私は20分ほど昼ね、！7人で記念撮影！時間も時間で早々に下山！私で40分大塚、石野、大本君は35分の快速でテント場に付き、明日の沢の準備をして夕食準備、ケイちゃんが知り合った女性と遅れて帰り、明日の準備で、わけ分からんようになってました？。

完全に日が暮れるまで外で飲み明かしました。テントに入り、29歳の女性と遅くまで飲みまくり、周りの人から注意を受けました？。

13日、

早々に起床！天気も最高！朝食もしっかり食べて薬師沢小屋まで急降下！木道が霜ですべる？ケイちゃんが、何度も奇声をあげていた！。

小屋の前でウエットスーツと沢装備に着替えて沢を登り、赤木沢目出した。途中のへつりで大本君は良いバランスでクライミングを楽しんでいました。めちゃくちゃ水がきれいだ！！しかも兵庫の沢とは違い、明るく開けていてなだらかだ！、赤木沢はこんなに楽には行かないのか？、やがて分岐に付く、ここらはもう少し暖かければ飛びこみたい程だ！予想に反して赤木沢も楽！、それほど急な大きな滝も少なく、周りの景色が素晴らしい！、岩も滑りにくいし、ルートが多く、楽でも何でも有だ！、次第に暖かくなり、前に前にと進むのがとても楽しい！、時おり大本君クライミング、私たちも胸まで浸かったりして楽しい！、時間がたつのをわすれてしまいそうです。ピナや、ザイルも使うことが無い、気が付くと最後の大きな滝、ここでコーヒータム、さすがに日陰は長くいると寒い、みな笑顔でこんなに楽しい沢登りは初めて、この滝を巻くと上はまだ暖かだ！。

地図どおりに最終ポイントまで来た。ここでパンツまで着替えて草原へ向かう、やがて沢の初めに着き、この水を飲んだ、登り詰めて、赤木山山頂に着いた。

向こうは雲海になっていて、ガスがだんだん出てきた。北の又岳で小休止してここからハイペースで降りました。まだ4時前でしたが早々に遅れたケイちゃんを待ちながら5人でビール

を飲み始めた。30分ほどしてケイちゃんが帰り、乾杯！、装備を干したが乾くはずも無い。

今夜は冷えると思い、テントの中に、昨夜同様酒盛だ！、持ってきた40本のビールも空になり、焼酎、ウイスキー、残りのつまみで腹もパンパン！。

この夜はあまり冷えず暖かでした。 私は・・・

13日、

朝は曇りでしたが雨は降りそうにありません、ゆっくりしたつもりでしたが、8時半にはテントもたたみ、下山へ、オートルートのエスケープのルートを観察しながら降りました。 天気は良くなり、ルートが良く見えた。しかしガスの中では難しい事も分かった。下に下りるにしたがい紅葉がきれいに見えた！遅れ遅れしていたケイちゃんも汗をかきながら笑顔で見入った！10時過ぎに下山！。たくさんの人が紅葉の写真、ビデオを回していた。がらがらだった駐車場がいっぱいだ！。着いたら大塚さんがクーラーからビールを出してきた！。皆で乾杯！うまい！！温泉に向かう道は前から来る車で四苦八苦だ？。

みな車酔い？、特に大本君は今にも吐きそうだ！、何とか温泉に着き、3日間の汗を流し、ビールで乾杯！、そして市内のレストランで高級パスタ料理とワインで乾杯！。

そして3時に石野さんを富山駅に送り、帰路に着いた。

PS.

今回は天候に恵まれ、大変素晴らしい景色の山行になりました。 有峰の紅葉、薬師からの大展望、赤木沢の素晴らしい沢登り、夜の星空と思い起こせばきりが無いほどでした。



北ノ俣岳より展望・・・雲海に浮遊する白山